

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	秋田公立美術大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	アキタコウリツビジュツダイガク
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	北海道・東北地方
	大学等名1(代表大学等)学校種別	公立大学
	大学等名2(連携大学等)	
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	
	大学等名2(連携大学等)学校種別	
	科目名	学外実習(インターンシップ)
	学部・研究科等名	美術学部
	担当教職員名・役職	阪口正太郎教授ほか6名
受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	24	
受入企業等数	19	
受入企業等名	Reborn-ArtFestival、秋田県地域産業振興課、踊る秋田、(株)SeeVisions、(株)岩田写真館、(株)ガージーカームワークス、(株)クロフネ、(株)こしやる店、(株)ソルトワークス、(株)ツバサ、(株)東京美工、(株)トラパンツ、(株)パルテごとう、(株)緑コーポレーション、小松クラフトスペース、太陽企画(株)、鋳工舎、つむら工芸、(有)たかえん	
インターンシップの分類	5.他県をまたぐ広域インターンシップ 6.低学年(大学1年次～2年次程度)からのインターンシップ 9.中小企業でのインターンシップ 10.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ	
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	就業体験を通して、自分の課題を発見して、さらに改善の方法を考え新たなインターンシップに取り組む姿勢に結びつけるための能力を培うことを目標とする。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	2.当該インターンシップは、キャリア教育科目として実施している 6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 7.当該インターンシップは、授業期間中に実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	1～4年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	2
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	単位数を実働10日程度として、2単位としている。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法を身に付ける授業等を行っている 3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	モニタリングは、平成30年度より実施している。内容:学生の実施状況の見学と簡単なインタビュー。受入先企業(社長)へのインタビューから企業の状況、学生に対して求めること等を伺う。
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップのマナー、実習先での心構えについて指導している。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	実習期間中の自己評価を行い、報告会により自己分析している。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	モニタリングは平成30年度より実施している。

要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	実施後、プレゼンテーション用の報告書から実施成果として自己の成果や変化、キャリア形成への課題を発見することで社会人になるための下地をつくることも目標としている。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している 3.複数の企業等においてインターンシップを実施することにより、計5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間10日間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間10日間
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容(記述欄)	
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	受入先企業は多忙の中、連続5日以上の実施が難しい場合もあることからワンデイを除く実働10日として複数企業を選択することも可能としている。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	受入企業から実施中の評価票を提出いただき、評価点を学生に示し自己評点と比較している。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	別途提出済み。
問い合わせ先	大学等名	秋田公立美術大学
	担当部署名	キャリアセンター
	担当者役職名	主席主査
	担当者氏名	富樫 透
	電話番号	018-888-8105
	メールアドレス	care@akibi.ac.jp